

NETWORK SYSTEM FOR MAKING BLOCK COPY, METHOD FOR MAKING SEAL AND METHOD FOR MAKING BUSINESS CARD

Patent Number: JP11160851
Publication date: 1999-06-18
Inventor(s): KASAI KUNIO
Applicant(s):: KASAI KUNIO
Requested Patent: ☐ JP11160851
Application Number: JP19970328279 19971128
Priority Number(s):
IPC Classification: G03F1/00
EC Classification:
Equivalents: JP3091174B2

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a product which is produced based on a block copy after making the block copy such as a seal or a business card at low cost and further to shorten a term from receiving an order till delivering the product.

SOLUTION: This network system is provided with a system for making a block copy 1 generating and transmitting block copy data for making the block copy, a system for outputting a block copy 3 outputting the block copy based on the block copy data transmitted from the system 1, and a network 2 connecting the systems 1 and 3.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-160851

(43) 公開日 平成11年(1999) 6月18日

(51) Int.Cl.⁸

識別記号

F I

G 0 3 F 1/00

G 0 3 F 1/00

// B 4 1 K 1/00

B 4 1 K 1/00

審査請求 有 請求項の数 8 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平9-328279

(22) 出願日 平成9年(1997)11月28日

(71) 出願人 597166947

笠井 邦雄

山梨県甲府市湯村1丁目1番15号

(72) 発明者 笠井 邦雄

山梨県甲府市湯村1丁目1番15号

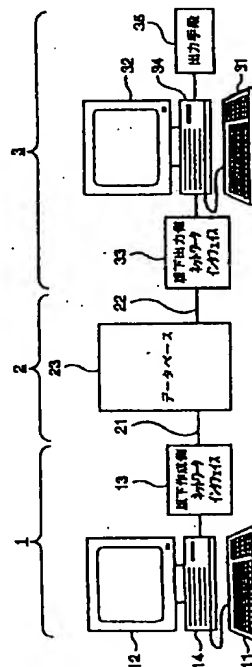
(74) 代理人 弁理士 鈴木 俊一郎

(54) 【発明の名称】 版下作成用ネットワークシステム、印章作成方法および名刺作成方法

(57) 【要約】

【課題】 印章や名刺などの、版下を作成して該版下に基づいて製作される製品を、低価格で提供することができ、さらに依頼の時から納品するまでの期間を短縮する。

【解決手段】 本発明に係る版下作成用ネットワークシステムは、版下を作成するための版下データを作成して伝送する版下作成用システム1と、上記版下作成用システム1から伝送される版下データに基づいて版下を出力する版下出力用システム3と、上記版下作成用システム1と上記版下出力用システム3とを接続するネットワーク2とを備えたネットワークシステムである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 版下を作成するための版下データを作成して伝送する版下作成用システムと、

上記版下作成用システムから伝送される版下データに基づいて版下を出力する版下出力用システムと、

上記版下作成用システムと上記版下出力用システムとを接続するネットワークとを備えたネットワークシステムであって、

上記版下作成用システムは、上記版下データを入力するとともに該版下作成用システムの操作入力を行うための第一の入力手段と、該版下データに基づいて版下イメージを表示する表示手段と、上記版下データを上記ネットワークに伝送する送信手段と、上記第一の入力手段からの入力に応じて版下データを作成し、または該版下作成用システム全体の動作を制御する第一の制御手段とを有し、

上記版下出力用システムは、該版下出力用システムの操作入力を行うための第二の入力手段と、上記版下作成用システムを送信手段から上記ネットワークを介して伝送される版下データを受信する受信手段と、上記受信手段にて受信した版下データを出力する出力手段と、上記第二の入力手段からの入力に応じて該版下出力用システム全体の動作を制御する第二の制御手段とを有することを特徴とする版下作成用ネットワークシステム。

【請求項2】 上記版下データは、上記版下出力用システムから上記ネットワークを介して送られる指示に従って作成されることを特徴とする請求項1に記載の版下作成用ネットワークシステム。

【請求項3】 上記版下出力用システムは、上記受信手段にて受信した版下データに基づいて版下イメージを表示する表示手段を有することを特徴とする請求項1に記載の版下作成用ネットワークシステム。

【請求項4】 上記ネットワークは、上記版下作成用システムおよび上記版下出力用システムの双方から接続可能なデータベースを有し、

上記データベースは、上記版下作成用システムから伝送される版下データを一旦取り込んで、上記版下出力用システムからのアクセス指示に基づいて該版下データを該版下出力用システムに伝送することを特徴とする請求項1に記載の版下作成用ネットワークシステム。

【請求項5】 上記データベースは、上記版下作成用システムからのアクセス可能な範囲を制限するデータ構造を有することを特徴とする請求項4に記載の版下作成用ネットワークシステム。

【請求項6】 上記版下データは、少なくとも該版下に基づいて製作される製品の全体イメージからなるデータと、該製品にて用いられる文字の種類からなるデータとからなることを特徴とする請求項1に記載の版下作成用ネットワークシステム。

【請求項7】 請求項1ないし6のいずれかに記載の版

下作成用ネットワークシステムにおいて作成された版下に基づいて印章を作成することを特徴とする印章作成方法。

【請求項8】 請求項1ないし6のいずれかに記載の版下作成用ネットワークシステムにおいて作成された版下に基づいて名刺を作成することを特徴とする名刺作成方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

10 【発明の属する技術分野】本発明は、版下を作成するための版下データを作成して伝送する版下作成用システムと、上記版下作成用システムから伝送される版下データに基づいて版下を出力する版下出力用システムと、上記版下作成用システムと上記版下出力用システムとを接続するネットワークとを備えたネットワークシステムに関する。

【0002】また、本発明は、上記ネットワークを適用した印章作成方法および名刺作成方法に関する。

【0003】

20 【従来の技術】従来において、例えば印章等のような、版下を作成し、この版下に基づいて製作される製品を注文する場合、図3に示すように、製作依頼者が任意の用紙等に所望する印章のイメージとなる原稿、すなわち版下原稿を作成し（ステップS101）、製作者に持ち込む。このとき、このイメージを具体化するために念入りな打合せ等が行われる。以下、印章を製作するための工程を例にして説明する。

【0004】製作者では、上記版下原稿および打合せ内容に基づいて、文字の種類やレイアウトを検討し、写真植字等を行って、印章の直接的な版下を作成する（ステップS102）。続いて、この版下を出力する（ステップS103）。さらに、この出力された版下に誤字脱字等がないかを校正する（ステップS104）。

【0005】次に、校正終了後の版下により、上記印章のイメージを表すことができるか、仮刷り等を行って文字の種類やレイアウト等のバランスが適当であるかを確認、判別し（ステップS105）、この判別結果がN O、すなわち版下から得られる印章が依頼者の所望する印章ではないと判別されたときはステップS102に戻って、ステップS102～S104までの工程を繰り返す。また、この判別結果がY E S、すなわち版下から得られる印章が依頼者が所望する印章であると判別されたときはステップS106に進む。なお、通常はこの確認が、製作者側のみで行われるが、必要に応じて製作依頼者も参加して行われる。

【0006】続いて、依頼者が所望する印章が得られると判断された版下を用いて、実際に印章を製作して（ステップS106）、該依頼者へ納品する（ステップS107）。通常は、少なくともステップS102～S106の工程が製作者が行う工程（ステップS110）と

なっている。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】ところで、図3に示すような従来の方法にしたがって、印章を製作する際に、ステップS110の中でも特に依頼を受けてから版下を作成し、出力するまでの工程（ステップS102、S103）が最も時間と手間がかかるとともに、内容により版下作成期間も異なる。したがって、納期を短縮することが困難であるばかりではなく、依頼を受けた時点で納品時期を決定することが困難であった。

【0008】また、依頼して製作される印章は、既製の印章のように大量生産するものではない。したがって、折角手間暇かけて版下を作成しても、この版下はその場限りのものが多い。

【0009】このため、少しでも版下作成までの工程を早く済ませるために、中には外部の業者に依頼する場合もあった。その結果、印章の値段が上昇することになってしまう。通常、印章製作の依頼を受けるときに費用の見積もりをとるのだが、出来上がった印章が、当初見積もった予算よりも高くなってしまふことがあった。

【0010】さらに、実際に、依頼者が作成し、持ち込んだ版下原稿をそのまま使用できる場合が極めて少なく、および依頼者の持つイメージ通りのものを版下に起こすことが困難であるため、一旦版下作成した後の該版下の校正および確認（ステップS104、S105）に手間が掛かっていた。

【0011】そこで、依頼者に版下を作成させて、この版下を持ち込ませて注文を受けることが望ましい。しかし、版下作成は、作業に携わる人の技能に頼ることが多い。したがって、文字の種類やレイアウト等に知識のない依頼者が版下を作成することを期待することは困難である。さらに、版下作成を依頼者に課すと気軽に印章の製作を依頼することができなくなってしまう虞があった。

【0012】そこで、本発明は、上述の実情に鑑みてなされたものであり、印章や名刺などの、版下を作成して該版下に基づいて製作される製品を、低価格で提供することができ、さらに依頼の時から納品するまでの期間を短縮することが可能な版下作成用ネットワークシステムを提供することを目的としている。

【0013】また、本発明はこのような版下作成用ネットワークシステムを用いて得られた版下を使用する印章作成方法および名刺作成方法を提供することを目的としている。

【0014】

【課題を解決するための手段】本発明に係る版下作成用ネットワークシステムは、上述の問題を解決するために、版下を作成するための版下データを作成して伝送する版下作成用システムと、上記版下作成用システムから伝送される版下データに基づいて版下を出力する版下出

力用システムと、上記版下作成用システムと上記版下出力用システムとを接続するネットワークとを備えたネットワークシステムであって、上記版下作成用システムは、上記版下データを入力するとともに該版下作成用システムの操作入力を行うための第一の入力手段と、該版下データに基づいて版下イメージを表示する表示手段と、上記版下データを上記ネットワークに伝送する送信手段と、上記第一の入力手段からの入力に応じて版下データを作成し、または該版下作成用システム全体の動作を制御する第一の制御手段とを有し、上記版下出力用システムは、該版下出力用システムの操作入力を行うための第二の入力手段と、上記版下作成用システムからの送信手段から上記ネットワークを介して伝送される版下データを受信する受信手段と、上記受信手段にて受信した版下データを出力する出力手段と、上記第二の入力手段からの入力に応じて該版下出力用システム全体の動作を制御する第二の制御手段とを有することを特徴としている。

【0015】また、上記版下データは、上記版下出力用システムから上記ネットワークを介して送られる指示に従って作成されることが好ましい。また、上記版下出力用システムは、上記受信手段にて受信した版下データに基づいて版下イメージを表示する表示手段を有することが好ましい。

【0016】また、上記ネットワークは、上記版下作成用システムおよび上記版下出力用システムの双方から接続可能なデータベースを有し、上記データベースは、上記版下作成用システムから伝送される版下データを一旦取り込んで、上記版下出力用システムからのアクセス指示に基づいて該版下データを該版下出力用システムに伝送することが好ましい。

【0017】また、上記データベースは、上記版下作成用システムからのアクセス可能な範囲を制限するデータ構造を有することが好ましい。また、上記版下データは、少なくとも該版下に基づいて製作される製品の全体イメージからなるデータと、該製品にて用いられる文字の種類からなるデータとからなることが好ましい。

【0018】本発明に係る印章作成方法は、上述の版下作成用ネットワークシステムにおいて作成された版下に基づいて印章を作成することを特徴としている。本発明に係る名刺作成方法は、上述の版下作成用ネットワークシステムにおいて作成された版下に基づいて名刺を作成することを特徴としている。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る版下作成用ネットワークシステム、印章作成方法および名刺作成方法の具体的な態様を、図面を参照しながら説明する。

【0020】上記版下作成用ネットワークシステムは、図1に示すように、版下を作成するための版下データを作成して伝送する版下作成用システム1と、上記版下作成用システム1から伝送される版下データに基づいて版

下を出力する版下出力用システム3と、上記版下作成用システムと上記版下出力用システム3とを接続するネットワーク2とを備えたネットワークシステムである。

【0021】版下作成用システム1は、上記版下データを入力するとともに該版下作成用システム1の操作入力を行うための第一の入力手段である第1入力部11と、該版下データに基づいて版下イメージを表示する表示部12と、上記版下データを上記ネットワークに伝送する送信手段13と、第1入力部11からの入力に応じて版下データを作成し、または該版下作成用システム1全体の動作を制御する第一の制御手段である第1コンピュータ13とを有する。

【0022】ネットワーク2は、版下作成用システム1および版下出力用システム3の双方から伝送回線21、22を介して接続可能なデータベース23を有する。版下出力用システム3は、該版下出力用システム31の操作入力を行うための第二の入力手段である第2入力部31と、上記版下作成用システム1の送信手段13から上記ネットワーク2を介して伝送される版下データを受信する受信手段33と、上記受信手段33にて受信した版下データに基づいて版下イメージを表示する表示手段32と、該版下データを出力する出力手段35と、第2入力部31からの入力に応じて該版下出力用システム3全体の動作を制御する第二の制御手段である第2コンピュータ34とを有する。

【0023】なお、上記版下作成用ネットワークシステムでは、版下に基づいて製作される製品の依頼者が、版下作成用システム1を操作して版下を製作し、一方製作依頼を受ける製作業者が、版下出力用システム3を操作して作成された版下を出力して、この版下に基づいて製品を製作する。

【0024】版下作成用システム1において、第1入力部11は、例えばキーボード、マウス型入力装置等から構成され、創作依頼者が該システムを操作するために入力を行うものである。また、後述する版下出力用システム3から送られる版下作成用プログラムにしたがって、版下を作成する際の入力も行われる。さらに、後述するように、作成した版下データをネットワーク2に送る際に必要なデータを入力するためにも用いられる。

【0025】第1コンピュータ14は、第1入力部11からの入力に応じて、後述するように版下データを作成し、表示部12、版下作成側ネットワークインタフェース13に該版下データを送る。また、第1入力部11からの入力に応じて、表示部12および版下作成側ネットワークインタフェース13の動作をオン/オフ制御する。

【0026】版下作成側ネットワークインタフェース13は、ネットワーク2、すなわち伝送回線21を介してデータベース23に接続し、該データベース23に対してデータを送受信する部分である。送信するデータとし

ては、第1コンピュータ14から送られる版下データが挙げられる。受信するデータとしては、後述するように、版下出力用システム3からネットワーク2を介して送られるデータ、例えば版下作成用プログラムが挙げられる。

【0027】表示部12は、第1入力部11からの入力に応じて、例えばシステムの動作状態、第1コンピュータ14から送られる編集中の版下データに基づいて編集中の版下イメージ等を表示する。

【0028】版下出力用システム3において、第2入力部31は、上記第1入力部11と同様にキーボード、マウス型入力装置等から構成され、製作業者が該システムを操作するために入力を行うものである。また、後述するデータベース23にアクセスするための入力も行う。

【0029】第2コンピュータ34は、第2入力部31からの入力に応じて、表示部32および版下出力側ネットワークインタフェース33の動作をオン/オフ制御する。また、版下出力側ネットワークインタフェース33を介して取り込んだ版下データを、第2入力部31からの入力に応じて表示部32、出力手段35に送る。また、版下作成用システム1に版下作成用プログラムを送る。

【0030】表示部32は、第2入力部31からの入力に応じて、第2コンピュータ34から送られる版下データに基づいて版下イメージを表示する。出力手段35は、第2コンピュータ34から送られる版下データに基づいて版下を出力する。

【0031】ネットワーク2において、データベース23は、版下作成用システム1の版下作成側ネットワークインタフェース13から伝送される版下データを一旦取り込む。このとき、第1入力部11によりアドレス指定されたところに蓄積される。また、版下出力用システム3からのアクセス指示に応じて、取り込んだ版下データを版下出力用システム3の版下出力側ネットワークインタフェース33へ伝送する。

【0032】なお、データベース23は、版下作成用システム1および版下出力用システム3の双方からアクセス可能であるが、下記のような版下作成用システム1からのアクセス可能な範囲を制限するようなデータ構造を有している。

【0033】これは、例えば版下作成用システム1からの版下データを受ける際に、例えば依頼者の連絡先、納品先住所等の依頼者を特定できる個別データも要求して、個別データを載せた版下データを相取り込み、この際に後述の依頼番号等の認証データを出すようにする。そこで、依頼者がデータベース23にアクセスするには認証データの入力を義務付けるとともに、認証データに対応する版下データのみアクセスできるように設定されている。

【0034】このようにすることで、依頼者が、一旦依

図1

頼したものを再度見直すことができるとともに、他の依頼者のデータにアクセスすることを禁止することが可能になる。

【0035】また、版下出力用システムからは、アクセス可能な範囲に制限はなく、依頼者全員の版下データを見ることができ、また必要に応じて版下データの文字部分のデータ、例えば氏名、住所、合計費用等を用いて依頼者表を作成することが可能である。

【0036】上記版下作成用ネットワークシステムの動作を、図2を用いて説明する。なお、ここでは例えば製作依頼する製品として印章、例えばゴム印の例を挙げ、このゴム印の製作を依頼する場合について説明する。

【0037】ステップS1では、依頼者が版下作成用システムを起動し、以下の版下作成用プログラムにしたがって、版下を作成する。ここで、上記版下作成用プログラムについて説明する。

【0038】このプログラムは、版下出力用システム3から伝送され、データベース23に蓄積されているものである。版下作成用システム1から、このプログラムにアクセスすることが可能であって、版下作成用システム1の第1入力部11からの入力に応じて版下作成用ネットワークシステムを介して第1コンピュータ14に取り込まれる。さらに、依頼者は、表示部12でこのプログラムを表示させて、各プログラムの指示にしたがって、第1入力部11の操作を行いながら版下イメージを作成する。このときのデータ処理は、第1コンピュータ14で行われる。

【0039】また、このプログラムは、製作依頼する製品の全体イメージを選択させる第1プログラム、この製品にて用いられる文字の種類を選択させる第2プログラム、個別データを入力させる第3プログラム、第1～第3プログラムによる指示にしたがって作成した版下データをデータベース23に送るか否かを選択させる第4プログラム等からなる。

【0040】第1プログラムでは、ゴム印の完成イメージのサンプルおよび設定された各サンプルの基本料金のデータを有しており、依頼者に選択させる。なお、任意の完成イメージの作成も可能であり、その旨の入力があった場合、イメージ作成画面を呼び出して、この画面上で依頼者は第1入力部11を用いてイメージ作成するように指示される。

【0041】第2プログラムでは、ゴム印に用いる文字の種類、いわゆるフォントのサンプルを表示して、このフォントの指定を依頼者に行わせる。ここでは、フォントの種類と、フォントの大きさ（ポイント数等）とを指定させる。上記と同様、任意のフォント、例えばいわゆる外字などを用いることも可能であり、その旨の入力があると、この場合もイメージ作成画面が呼び出され、この画面上で依頼者は第1入力部11を用いてイメージ作成するように指示される。なお、ここでも、文字数、フ

ォントの種類、大きさに基づいて費用が設定されており、サンプルを表示するときに費用も表示させる。

【0042】第3プログラムでは、個別データ、すなわち上記の依頼者を特定できるデータおよびゴム印に載せる住所および氏名等を入力するための画面を表示し、依頼者はこの画面上の指示にしたがって、第1入力部11を用いて入力する。

【0043】第1～第3プログラムを終了すると、確認の画面が表示され、そのとき合計費用も表示させる。この例においては、これらのデータ、すなわち製作依頼する製品の全体イメージからなるデータ、この製品内で用いられる文字数、文字の種類および文字の大きさからなるデータ、上記個別データおよび該製品の製作費用に係るデータが、版下データとなる。依頼者は、この版下データを見て依頼するか否かの検討を行うことができる。

【0044】次に、図2に戻り、作成した版下データに基づいてゴム印製作を依頼する場合、ステップS2に進む。ここでは、依頼者の第1入力部11による入力にしたがって上記第4プログラムが呼び出される。ここでは、この版下データを出力する旨のコマンド入力を行うよう指示する。

【0045】このコマンド入力があると、依頼者に依頼番号付与するために、第1コンピュータはこのコマンド入力があった旨のデータを版下作成側ネットワークインタフェイス13、伝送回線21を介してデータベース23に送る。一方、データベース23は、このデータが送られると、版下データのための記録領域を確保し、この記録領域のアドレスと関連する依頼番号を伝送回線21、版下作成側ネットワークインタフェイス13を介して第1コンピュータ14に送る。

【0046】この依頼番号が付与されると、第1コンピュータ14は、版下データを版下作成側ネットワークインタフェイス13に送る。版下データは、ここで伝送回線21にて伝送可能なデータに変換され、データベース23に送られ、ステップS3に進む。

【0047】ステップS3では、データベース23が、版下データを予め確保しておいた記録領域に格納し、蓄積してステップS4に進む。ステップS4では、製作者が、第2入力部31を用いてゴム印製作依頼の有無を問う旨の入力を行う。この入力があると、第2コンピュータ34はデータベース23にアクセスする旨の指示を出力する。この指示があると、データベース23は、所定の記録領域に版下データが格納されているか否かを知らせる旨の出力を行う。

【0048】版下データが格納されている旨の出力があると、その旨を表示部32に表示させる等して製作者に知らせる。ここで、製作者は、例えば全部の版下データに関する上記の依頼者表を表示させたり、特定の版下データに関する依頼者表を表示させたり、指定した版下データを表示させる等、版下データの取り込みまたは

表示に関するコマンド入力を、第2入力部31を用いて行う。

【0049】このコマンド入力があると、第2コンピュータ34は、版下データを指定し、この指定された版下データを要求する旨のデータをデータベース23に送る。一方、データベース23は、このデータが送られると、該当する版下データを伝送回線22、版下出力側ネットワークインタフェイス33を介して第2コンピュータ34に伝送する。

【0050】このように、ネットワーク2上にデータベース23を設けることは、版下出力用システムにおいて多くの版下データを一度に扱う必要がなくなるため、該システムの第2コンピュータ34の負担を低減することができ、また、汎用のコンピュータシステムを用いることが可能になるため好ましい。

【0051】但し、データベース23をネットワーク2上に設けなくとも、版下出力用システム内にデータベース23を設けても本発明の効果を得ることができる。ステップS5では、第2コンピュータ34が伝送された版下データを出力手段35に送り、出力手段はこの版下データに基づいて版下を出力する。また、第2コンピュータ34は、第2入力部31からの入力に応じて、表示部32にこの版下データを送り、表示部32にて表示させることができる。このようにして、版下を出力する前に、製作者側でも版下イメージの確認を行うことができ、例えば依頼者側で看過された誤字脱字の有無を確認できる。

【0052】ステップS6では、出力された版下を用いて、ゴム印を製作して、ステップS7に進んで、完成したゴム印を、個別データの納品先住所宛に郵送するなどして納品する。

【0053】なお、ステップS1、S2を、版下作成用システム1で行う、すなわち依頼者が行う工程（ステップS11）とし、ステップS4、S5を、版下出力用システムで行う、すなわち製作者が行う工程（ステップS12）としている。

【0054】以上のように構成することで、版下作成を依頼者に行わせることが可能になる。また、これにより、納期、費用が不確定となる版下作成から校正までを行う工程の削減が可能であり、依頼者が版下データを伝送する前に表示された費用を超える虞がない上に、依頼時に正確な納期を設定することが可能である。

【0055】また、依頼者に、上記版下作成用プログラムにて誘導しながら版下作成を行わせることで、版下作成に係る特別な知識や特別なコンピュータの知識等がなくても容易に版下作成を行うことができる。さらに、依頼者自身が版下を作成するため、依頼者が所望する通りの製品が得られる。

【0056】なお、本発明に係る版下作成用ネットワークシステムは、以上のような具体例に限定されることは

なく、本願の範囲を逸脱しない範囲において、種々の変更が可能であることは言うまでもない。

【0057】例えば、ここでは、版下作成用ネットワークシステムを用いる具体例として、印章（ゴム印）の作成方法を挙げたが、これに限定されることはなく、他の版下を用いて製作する製品、例えば名刺や表札等の作成方法に適用しても、本願の効果を得ることができる。

【0058】また、本願のネットワークシステムは、版下作成専用のコンピュータおよび専用の閉鎖的なネットワークシステムを用いても実現可能であるが、既存の汎用コンピュータおよび開放的な汎用ネットワークシステムを用いても実現することができる。

【0059】

【発明の効果】本発明によれば、印章、名刺などの製品の版下作成を製品製作の依頼者に行わせることが可能になる。また、これにより、納期、費用が不確定となる製作者側での版下作成から校正までを行う工程の削減が可能であり、製品を低価格で、依頼から納品までの期間を短縮することが可能である。さらに、費用面では依頼者が製作依頼した製品の版下データを伝送する前に表示された費用を超える虞がない上に、依頼時に正確な納期を設定することが可能である。

【0060】また、依頼者に、上記版下作成用プログラムにて誘導しながら版下作成を行わせることで、版下作成に係る特別な知識や特別なコンピュータの知識等がなくても容易に版下作成を行うことができる。

【0061】また、版下出力用システムに、表示手段を設けることで、版下出力用システムにて取り込んだ版下データに基づいて版下を出力する前に、製作者側でも版下イメージの確認を行うことができるため、製作者は依頼者側で看過された誤字脱字の有無の確認を行うことができる。

【0062】また、ネットワーク上にデータベースを設けることで、一度に多くの版下データが版下出力用システムに伝送されることがないため、版下出力用システムにおいてこれら版下データを一度に扱う必要がない上に、特別な大容量のデータベースを設ける必要がなく、版下出力用システムとして汎用コンピュータの使用が可能となる。

【0063】また、上記データベース内のデータ構造を、版下作成用システムからのアクセス可能な範囲を制限するようにすることで、依頼者が、一旦依頼したものを再度見直すことができるとともに、他の依頼者のデータにアクセスすることを禁止することが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、本発明の版下作成用ネットワークシステムの一具体的態様を示す模式図である。

【図2】図2は、上記版下作成用ネットワークシステムの動作を説明するためのフローチャートである。

【図3】図3は、従来の版下作成の工程を説明するフロ

11

12

一チャートである。

【符号の説明】

1 版下作成用システム

2 ネットワーク

3 版下出力用システム

11 第1入力部

12 表示部

13 版下作成側ネットワークインタフェース

* 14 第1コンピュータ

23 データベース

31 第2入力部

32 表示部

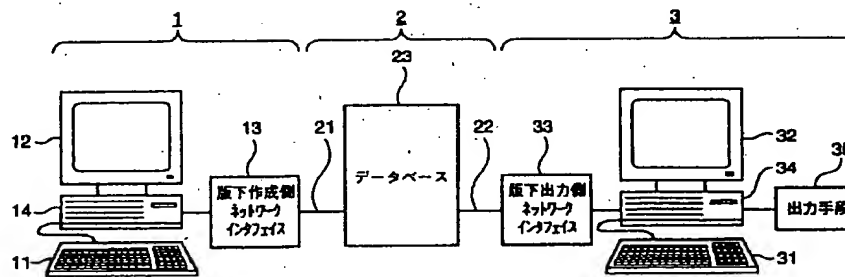
33 版下出力側ネットワークインタフェース

34 第2コンピュータ

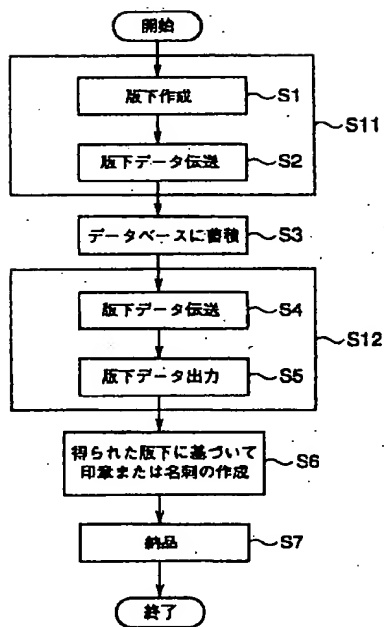
35 出力手段

*

【図1】



【図2】



【図3】

